



ボイスメール

- [ForwardVoicemail](#) (1 ページ)
- [VoicemailBackup1Server](#) (1 ページ)
- [VoicemailBackup2Server](#) (2 ページ)
- [VoicemailPrimaryServer](#) (2 ページ)
- [VoiceMailService_UseCredentialsFrom](#) (2 ページ)

ForwardVoicemail

すべてのクライアントに適用されます。

ユーザーが [ボイスメッセージ (Voice Messages)] タブからボイスメールを転送できるかどうかを決定します。

- **true** (デフォルト) : ボイスメール転送が有効です。ユーザーが [ボイスメッセージ (Voice Messages)] タブでボイスメールを選択すると、[ボイスメッセージの転送 (Forward voice message)] オプションを使用できます。
- **false** : ボイスメール転送が有効になっていません。

例 : <ForwardVoicemail>false</ForwardVoicemail>

VoicemailBackup1Server

デスクトップクライアント版およびモバイルクライアント版 Cisco Jabber に適用されます。

プライマリサーバーがダウンしているか、アクセスできない場合に、クライアントが接続する最初のバックアップサーバーを指定します。次の値を指定できます。

- ホスト名 (*hostname*)
- IP アドレス (*123.45.254.1*)
- FQDN (*hostname.domain.com*)

Cisco Jabber クライアントでは、2つのバックアップサーバーとプライマリサーバーの合計3つのサーバーを持つことができます。ただし、ボイスメールサーバーでは、1つのクラスタ内で2つのボイスメールサーバーのみがサポートされています。2つのバックアップサーバーを構成するには、1つをプライマリサーバーと同じクラスタに配置し、2番目を別のクラスタに配置します。

例 : <VoicemailBackup1Server>hostname</VoicemailBackup1Server>

VoicemailBackup2Server

デスクトップクライアント版およびモバイルクライアント版 Cisco Jabber に適用されます。

プライマリサーバーがダウンしているか、アクセスできない場合に、クライアントが接続する2番目のバックアップサーバーを指定します。次の値を指定できます。

- ホスト名 (*hostname*)
- IP アドレス (*123.45.254.1*)
- FQDN (*hostname.domain.com*)

Cisco Jabber クライアントでは、2つのバックアップサーバーとプライマリサーバーの合計3つのサーバーを持つことができます。ただし、ボイスメールサーバーでは、1つのクラスタ内で2つのボイスメールサーバーのみがサポートされています。2つのバックアップサーバーを構成するには、1つをプライマリサーバーと同じクラスタに配置し、2番目を別のクラスタに配置します。

例 : <VoicemailBackup2Server>hostname.domain.com</VoicemailBackup2Server>

VoicemailPrimaryServer

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

ボイスメール サーバのアドレスを指定します。値として次のいずれかを設定します。

- ホスト名 (*hostname*)
- IP アドレス (*123.45.254.1*)
- FQDN (*hostname.domain.com*)

例 : <VoicemailPrimaryServer>hostname</VoicemailPrimaryServer>

VoiceMailService_UseCredentialsFrom

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

ボイスメールサービスにアクセスするために、クライアントが電話サービスのクレデンシャルを使用することを指定します。

ユーザの電話サービスのクレデンシャルが、ボイスメールサービスのクレデンシャルに一致することを確認します。この設定を行うと、ユーザはクライアント インターフェイスでボイスメール サービスのクレデンシャルを指定できません。

デフォルトで、このパラメータは設定されていません。値は **phone** です。

このパラメータは、次の展開でのみ設定する必要があります。

- ハイブリッドクラウドベース展開。
- 電話モードの導入。

オンプレミスの展開では、ボイスメールサービスのプレゼンスサーバーのログイン情報のソースを設定する必要があります。

以下は、ボイスメールサービスのクレデンシャル パラメータの例です。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<config version="1.0">
  <Voicemail>
    <VoicemailService_UseCredentialsFrom>phone</VoicemailService_UseCredentialsFrom>
  </Voicemail>
</config>
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。